



やったぞ! 74%の子が英検合格!!

1月21日(土)に今年度3回目の英語検定を受けた子どもたちが、目指す級に見事に合格しました。受験者57人中42人の子どもが合格したのです。(合格率74%)子どもたちのすばらしいがんばりに拍手です。大いにほめてあげてください。残念ながら今回合格できなかった子どもたちの成績を見ると、もう少しで合格という非常に惜しい数字でした。次回はきっと合格できると思いますので、ご家庭でも励ましてください。

さて、ザベリオ学園小学校の最大の特徴は、宗教を中心とした人間教育と高いレベルの英語教育です。今回は英語教育での現在の取り組み状況をご紹介します。

【現在の取り組み状況】



- ① 全学年で週3時間の英語の授業実施**
6年間で公立小学校の9倍の授業時間を確保しています。質・量共に充実しています。本校HPに代表児童のEnglish Speechの動画がありますので、ご覧ください。
- ② 卒業時英検合格目標は3級**
昨年度までは全員5級以上合格してから卒業することを目標にしていたが、今年度はさらに高い目標に挑戦する子どもが増えています。
- ③ 英検受験級毎の対策講座**
毎週火曜木曜の午後3時5分から45分間、子どもたちの実態に応じた密度の濃い英語学習を行っています。英語教師4名で指導しています。希望参加ですので、忘れ物をしない、真面目に参加するという学習ルールを徹底していきたいと思ひます。

【平成29年度英検取得状況】(2月9日現在)

	2級	準2級	3級	4級	5級	合計
1年						
2年				1	1	2
3年					4	4
4年				9	10	19
5年	1	1	4	11	11	28
6年		4	4	18	4	30
合計	1	5	8	39	30	83



6年生30名は何と全員が5級以上合格して卒業することができます。すばらしいがんばりです。将来、大学受験を目指す子どもたちが自分の夢を実現する大きな手立てが英語力です。本校では、次年度も心の学習を土台としながら学力・英語力を高めます。

これからの英語教育は・・・ 2020年 大学受験制度が大きく変わります!!

3年後、大学入試制度が大きく変わります。文科省は「社会が変わるのだから教育も変わらなければならない」と教育改革を急ぎ、高校の教育現場にも大きな変革を求めています。大学入試センター試験の廃止、それに伴う新テストの導入が、単なる入試制度の変更ではなく、学校教育そのものの改革を意味しています。

会津若松ザベリオ学園高等学校ではそれを見越し、次年度からCTコース、LTコース、GTコースという21世紀型教育に取り組みます。それに応じてザベリオ学園中学校も習熟度別授業やPLT学習、課外授業などさまざまな学力向上策を講じています。小学校でもその流れを受け、アクティブラーニングや英語教育の充実等に取り組んでいます。2016年度現在中学2年生の学年からは大学入試で、新テストを受けます。今の小学生も大学進学を希望すれば、新テストを受けなければなりません。大学入試の準備は、早ければ早いほど子どもが苦勞しなくて済みます。

世界のグローバル化は非常に速いペースで進んでおり、国内だけに目を向けていれば生活が成り立つ時代ではなくなってきました。いろいろな仕事で日本人以外の人々との協働が求められています。共通のコミュニケーションツールとして英語を使いこなせることは、あたりまえの時代になってきました。英語を使って「あなたはどのように考えますか?」と問われたときに、自分の考えを外国の人にもわかるような形で表現することが求められます。日本語でも英語でも「自分の考えを表現する力」が求められているのです。

■グローバル化する社会で求められる英語力

- ①聞く ②話す ③読む ④書く
- 特に「発表する力」と「対話する力」の両方が問われます。



- 早ければ2018年には、中学校で英語の授業が英語のみで行われるようになります。
- 2020年、公立小学校では5・6年生の外国語活動が英語科になり、週1コマから3コマに増えます。3・4年生も新たに週1~2コマ外国語活動が行われます。(ザベリオ小は1年生から週3コマ、ネイティブの指導者による授業をすでに実施しています。公立小学校とは圧倒的な学習量と質の差が生まれています。)

■ある大学入学試験より

【問題】「あなたは紅茶とコーヒーのどちらが好きですか。15秒で考えて、45秒で英語で話しなさい。」

【解答例】(すべて英語で話す)

紅茶です。英国が好きだからです。紅茶はまさに18世紀ごろから世界を近代社会に導いた英国文化の象徴だからです。英国が東インド会社を展開した時に、大航海時代の交易中で、紅茶を偶然見出したなどというエピソードがあるぐらいです。もちろん諸説ありますが、実におもしろいと思ひます。

※ 英語での「対話」に対応するには基礎知識(教養)と使える英語力が必要です。子どもたちにその力を育てる環境が、会津若松ザベリオ学園小学校にはあります。

